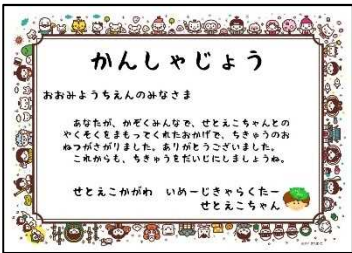


プログラム名	
ちきゅうにやさしいのはどっち？	
プログラムの概要・ねらい	
紙芝居やエコバッグ作りを通じて、幼稚園児や保育園児が、身の回りに起こる温暖化の影響を理解し、暮らしの中でエコな取り組みを楽しく学ぶプログラムです。 当センターでは、地域の地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化対策の重要性に関する広報啓発や、県民・民間団体等が行う活動への支援等を行っています。 今回のプログラムは、幼児期の早い段階から、楽しく身の回りの温暖化を学べるよう、①紙芝居の読み聞かせ、②エコバッグにお絵描き、③せとえこチャレンジ(お家に帰って4つの項目ができたかな、記録しよう)の3部で構成されており、地球温暖化防止活動推進員等を幼稚園等に派遣して実施します。 子ども達が家庭に帰ってから「③せとえこチャレンジ(お家に帰って4つの項目ができたかな、記録しよう)」に取り組むことで、家庭をも巻き込んだ行動変容に繋げるねらいがあります。	
プログラムの分野	
☒ 地球温暖化防止・エネルギー ☐ ごみ・3R ☐ 自然 ☐ 生き物 ☐ 大気 ☐ 水 ☐ その他	
プログラムの対象者	
☒ 幼稚園等(☒ 3歳児 ☒ 4歳児 ☒ 5歳児) ☐ 小学校1,2年 ☐ 小学校3,4年 ☐ 小学校5,6年 ☐ 中学校 ☐ 特別支援学校(☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☐ 知的障害 ☐ 肢体不自由 ☐ 病弱)	
対象人数(1回に実施可能な人数)	
30名以下(少人数が望ましい)	
実施場所	所要時間
教室	※幼稚園等については、原則1時間まで 60分程度(40～60分で調整可能)
プログラムの実施に必要な準備物	
学校、園で準備が必要なもの	演台(紙芝居読み聞かせ用) 子ども用の机と椅子(机には養生が必要)
団場で準備するもの	紙芝居、布製エコバッグ、マジック など
プログラム実施に伴う安全上の注意事項、リスクの対処法 ※雨天時の対応など	
マジックの取り扱いにご留意ください。 ・キャップの誤飲 ・インキを舐めること ※ 講師2名が連携して子どもを見守りながら実施いたしますが、事前に幼稚園等と留意事項の共有化を図り、トラブルの無いよう実施ができる体制構築いたします。	

【プログラムの進め方】

	学習内容・活動	写真
導入	～ プログラム実施日 ～ 1. 紙芝居 センター職員及び推進員が地球温暖化対策について具体的な取組みを伝える紙芝居を行います。 所要時間: 約 15 分 準備物: 演台	
	(1) オープニング (2) 自己紹介 (3) 地球温暖化について (4) 地球温暖化対策の概要 (5) 具体的な対策 ① エコバッグの活用 ② 冷蔵庫を開けっぱなしにしない ③ 照明をこまめに消す ④ 水は流しっぱなしにしない (6) まとめ	
展開	2. エコバッグづくり 地球温暖化対策の行動変容を促すアプローチとして、紙芝居で取り上げていたエコバッグを子ども達がマジックでお絵描きをします。スムーズにお絵描きができるよう、見本の提示や型(なぞれば模様を描けるツール)をご用意しています。 所要時間: 15～45 分 準備物: 子ども用の机と椅子(机には養生が必要)	
	3. 1 セとえこチャレンジの配布 紙芝居で取り上げた4つの温暖化対策をご自宅実践を促す「チャレンジシート」を配布します。 幼稚園教諭または保育士の皆様におかれましては、連絡帳や SNS 等を活用したコミュニケーションにより保護者へ趣旨説明・回収についてご連絡いただきたく存じます。	
確認	～ 後日 ～ 3. 2 セとえこチャレンジの回収と感謝状 「チャレンジシート」を基に、子ども達にご自宅で4つのエコ活動を挑戦いただきます。 幼稚園教諭または保育士の皆様におかれましては、「チャレンジシート」の回収をお願いします。 感謝状を子どもたちに贈呈いたします。	
		

【プログラムのアピールポイント】

本プログラムでは、二酸化炭素排出削減量を「チャレンジシート」を基に定量的評価を行うことが可能です。

紙芝居の読み聞かせを行う際は、手人形を用いて子どもたちの集中力の維持に努めます。紙芝居の内容も子どもたちが取り組みやすいものに絞り分かりやすく説明します。

お絵描きしたエコバッグは、お持ち帰りいただくことで各ご家庭での使用を促します。また紙芝居で学んだことをチャレンジシートの実践により、日常生活の中で温暖化対策が自然と溶け込み、ご家族の温暖化意識の醸成や行動変容にも繋がります。

ご家庭でのエコ活動に対し、子どもたちに感謝状を贈呈することで、子どもたちが「頑張ってよかった、今後も継続しよう」という考えになるよう工夫しています。

【授業を受けた先生の声】

《紙芝居について》

- ・人形が出てきたことで、子どもたちはとても興味をもってお話の世界に入っていた。
- ・紙芝居は内容が分かりやすく、欠席していた友達に教えてあげるときも「地球が熱でとんで！」と熱が出ないためにどうすればよいのかを教えようとする姿が見られた。
- ・紙芝居を真剣な表情で聞いており、クイズ形式で楽しく理解することができたからか、保育室に帰ってからも蛇口で手を洗っているときに「地球がお熱出るよな？」と保育者に尋ねる姿があった。これまで水を流しっぱなしにしていたが、今回の話を聞いて、少し意識するような姿が見られるようになった。
- ・保育室に帰ってからも手洗いや歯磨きの時に思い出して「水は止めないかな」「流しっぱなしはダメ」と言って意識している姿が見られる。

《エコバッグについて》

- ・星やクマの型を描いたり、その形をもとにして自分なりにイメージしたものを自由に描くことを楽しんでた。5歳児なので何もなくても描けたかもしれないが、型があったことで描き始めやすくイメージも広がったので良かった。
- ・エコバックは大きさも丁度よく、どの子もためらうことなくスラスラ思い思いに描けていて、自分のカバンというのが嬉しそうだった。
- ・自分で描いてオリジナルのエコバックを作ったことが嬉しかったのか、迎え時に保護者に「これ作ったんで！」と嬉しそうに見せる子が多かった。
- ・当日に早速エコバックを使った子や次の日に「今日エコバックもって買い物に行くんで」と話す子など、子どもたちが家庭に持ち帰ることで、家庭でもエコバックを子どもと一緒に使おうとしてくれている。

《チャレンジシートについて》

- ・チャレンジシートがあったので、家庭でも進んで省エネや節水していることを保護者からの連絡帳で知らせがあった。感謝状がもらえることがやる気にもつながっているようだ。